

ひこうき雲

本年7月からシツクハウス規制。

建築基準法改正で住宅の新築・増改築時に換気設備の設置などが義務づけられる。



第3種・計量換気装置の例

本年7月から改正建築基準法が施行され、従来は義務づけられていなかった住宅の新築・増改築時に換気設備の設置などが義務づけられるようになります。しかし現在、住宅の新築をご希望の方でこのような基準の存在を知っているのは、わずか3割程度しかいないことが調査機関の調査で明らかになっています。もしもお知り合いの方で、現在住宅新築中でありながらこの基準をご存じない方がいらつしやいましたら改正建築基準法について、施工工務店に問い合わせるようお知らせください。今

松下孝建設のシツクハウス対策。

換気装置は、松下孝建設の標準設備。

松下孝建設では、高性能住宅を自社の標準仕様にしてきました。したがって高性能住宅仕様の住宅には、従来建築されている全ての住宅に、換気装置の標準取付をおこなってきました。また、お客様の都合により従来の住宅を建築した場合においても換気装置を標準的に設置してきました。したがって今回の法改正に伴う住宅の換気装置に

まで換気装置を標準的に装備してこなかった建築会社の中には、駆け込みで従来のような換気装置の無い住宅を施工したり販売しているケースも報告されています。また7月からは、シツクハウス対策も従来より厳しくなり建材等も等級が変わり、ホルムアルデヒドなどの有害物質が出ない建材の使用が義務づけられ使用が制限されます。ホルムアルデヒド等のようなVOC(揮発性有機化合物)の発生は、構造材よりもむしろ家具などの塗料や接着剤に含まれている場合が多いので住環境を守るためには、家具等の選択にも十分に注意する必要があります。

発行所
松下孝建設
発行人 松下 孝行
編集人 仁 久志
■本社
〒891-0108
鹿児島市中山1丁目14-29
TEL (099) 267-7594
FAX (099) 269-5027
■始良支店
〒899-5421
始良郡始良町東餅田2328-2
TEL (0995) 65-8338
FAX (0995) 65-8606
<http://www.matsushitataka.co.jp/>

「自然素材の家」は、こうした経緯から生まれたものです。皇徳寺台実験棟の場合には、構造材に県産ヒノキを多用し、内装建材等に県産スギ材を採用しました。ムクの乾燥材を採用していますが、ヒノキの性質上多少の割れなども発生しましたが構造上は何ら問題はありません。まだ、ご覧になっていない方は是非ご覧いただきたいと存じます。

会がございましたらご自分の目でお確かめください。皇徳寺台実験棟も始良展示場もシツクハウス対策には万全の努力を払い壁には漆喰を標準採用しています。体感していただくとお分かり頂けると思いますが、空気の流れが全く違います。壁に触れていただくと、しつとりと冷たい漆喰の調湿作用を体感して頂けることと思います。



この県産木材を構造材や内装材に採用することで昔からの鹿児島特有の住宅が、姿形は変わっても高性能住宅として再現できるのではないかとこのコンセプトが有りました。確かに集成材などを採用した場合、構造計算上、柱などの太さなども抑えることが可能になります。それよりも長期間安定した構造材としての実績があるスギの4寸柱を選択しました。表し構造になつていきますから、梁などの太さもご覧いただけますのでどうか機

始良町に県産スギを採用了した展示場完成!

松下孝建設では、皇徳寺台の実験棟の成果を元にして、始良郡始良町に県産スギを主体にした展示場を建設しました。鹿児島県の県産スギは、屋久スギや霧島スギ等のように、広く県外にも知られる銘柄スギもあり、大変に優れた建築用材です。



始良展示場の特選素材は、漆喰クロス、壁面のリフォームをお考えの方は、是非ご体感を...

始良展示場の一階壁面は天然漆喰を塗っています。二階壁面は、漆喰クロス貼りです。この漆喰クロスは、不織布の保護膜をはいで空気にさらすと天然漆喰と同じように硬化します。施工は、壁紙を貼る場合と同じ要領で施工できますから大変に施工性に優れています。一階部分の天然漆喰と比較してもほとんどその違いは分からないと思います。壁面のリフォームをお考えの方やお子さまがアトピーなどで困りの皆様には、ビニールクロスや布クロス、壁紙からこの漆喰クロスにリフォームされることをお勧め致します。天然に近い素材を集めて、皆様健康に留意した「天然素材の家」に、是非ご来場ください。

次世代

▼あつという間に桜の花も散りまた鬱陶しい梅雨の季節がくるが皇徳寺台・始良の両展示場の漆喰壁がどんな働きをしてくれるか楽しみである。

▼この次の号で紹介する予定だが、環境共生住宅の実態調査のために東京からわざわざ2名の大学教授が来県されて、当社の皇徳寺台展示場を調査された。ありがたいことに地方においてこれだけの技術力と施工力がある企業は他にないとお褒めの言葉を頂いた。

▼記事にもあるように本年7月より、建築基準法の一部改正で機械換気の設置が義務づけられる。松下孝建設では、従来から換気装置は標準装備となっている。住宅の空気環境が最も重要であること早くから認識していたからである。低価格住宅の場合には、計画的な機械換気ではなく、従来通りの換気扇を設置している様だが、これからはより性能の高い換気装置の設置が義務づけられるので、技術力がない施工店では、その対応に苦慮しているのが実体の様である。



▼今度、詳しく特集したいと考えているが住宅における外断熱と内断熱工法に関して、テレビ報道などは、鉄筋コンクリートの建物と木造住宅の場合と混同しているからいがある。鉄筋コンクリートの場合には、外断熱が絶対で内断熱を採用して来たのは、先進国では日本だけである。しかし、木造住宅の場合には、欧米でも内断熱が主流で外断熱は少数派なのである。

紙上
大公開

「自然素材の家」PART.2 始良展示場OPEN!



人と地球の環境を考えた高性能住宅
ECO・HEART-Q21
始良展示場



■ウッドデッキ

美しい意匠の住宅がたくさん建てられています。
新築の間は問題も少ないかも知れませんが
性能を無視して建てられた住宅は
夏暑く・冬寒い住宅になってしまいます。
松下孝建設がご提案する
「自然素材の家」は、
少しのエネルギーで快適な一年を
過ごすことが可能な高性能でありながら、
しかも健康にも配慮した
見かけ倒しではない高性能・環境共生住宅です。
鹿児島産の杉を主流に、
天然漆喰など様々な見所があります。

鹿児島産の杉と漆喰壁にこだわった理想の健康空間。
「自然素材の家」
始良展示場を是非ご覧下さい



■和室



■展示場の場所等
分からない
場合には、
始良支店まで
ご連絡ください。
担当者がご案内
申し上げます。

■始良支店
〒899-5421
始良郡始良町東餅田2328-2
TEL (0995) 65-8338
FAX (0995) 65-8606



■始良展示場外観

爽やかな香りを感じていただけましたか？
 県産木の懐かしい香り
 昔の鹿児島島の住宅は、この様な木の香りがしていました。
 壁にふれてみてください。
 ひんやりとした感触があるはずですよ。
 漆喰の調湿作用で浄化された空気
 これこそ、今回の展示場のテーマです。
 ご家族の健康を守り長持ちのする住宅
 体感していただければ一目瞭然
 科学的な知識と自然素材が融合した
 本物の「自然素材の家」の完成です。



■リビング



■1階廊下



■2階廊下



■2階廊下



■階段

こだわりのオリジナル建具

お気づきにならないかも知れませんが、足下の杉板のフローリングは、表面を磨いています。建具の表面材も杉板を採用しました。このような建具類は、年を経る毎に住宅の歴史を語るように変色していきます。その他の建具類もほとんどのものがオリジナル建具になっています。1階は天然漆喰、2階の壁は漆喰クロス壁です。



■和室飾り棚



■玄関脇飾り棚



■オリジナル建具



■オリジナル収納扉

杉の清々しい香りと漆喰とのコントラスト是非、実際に体感して納得してください。



■リビングからキッチン



■キッチンからリビング

構造材や建具には、県産杉材を使用し、押入などの収納部分には、桐材を採用しています。柔らかな県産杉材の色彩と香りが気持ちを落ち着け、優しく育ててくれます。これが本物の健康住宅の原点です。木材を多用しただけでも、工法を昔に戻しただけでも、得ることはできない本物の住宅建築の真髄を感じてください。科学的に鹿児島島の気候風土を分析して得られたデータを最新工法として確立し、寒さにも暑さにも強い高性能住宅でありながら、しかも素材は県産素材を中心にした鹿児島県に最もふさわしい「健康住宅」の完成です。



■キッチン



■風呂

白い漆喰壁と県産杉のシンプルな住宅ですが、この住宅には性能面の様々な工夫があります。住まわれる方と共に住宅もまた、いつまでも長寿命を保ち、夏涼しく、冬暖かい快適な健康空間を創り出す様々な工夫をご覧ください。

住宅建築をお考えならば、絶対見逃せない展示場です。

次世代省エネルギー基準認定認定工法
「エコ・ハートQ21」は
 最良の県産材と出来る限り自然素材を使用
完成と同時に入居可能

「自然素材の家」主要設備

■エコ・ハートQ21工法

「次世代省エネルギー基準」認定工法ですから、公庫割り増し融資250万円が無条件で受けられます。「次世代省エネルギー基準」認定を単独で取得している工務店は全国的にもまだ少なく松下手建設の技術力の高さは、公的な機関で認められています。

■内壁に天然漆喰・漆喰クロスを採用

小児喘息やアトピーを引き起こす、新築病とも言われるシックハウス症候群が問題になっていますが、主な原因はホルムアルデヒドとVOC(揮発性有機化合物)が主な原因です。松下手建設は壁面に天然漆喰と漆喰クロスを採用し、シックハウスの起こらない健康住宅を実現。

■放射型温水基礎暖房装置 (オプション)

山岳部の多い鹿児島は、冬の寒さ対策にも注意が必要です。暖房は、室内の空気質を汚す危険性がありますから石油・ガスストーブなどの直接的な暖房ではなく、放射熱を利用する暖房方式が理想的です。松下手建設では、石油給湯器を利用した全く新しい基礎暖房方式を開発しました。クリーンな暖房で火災の心配もありません。

■鹿児島県産スギ材

昔から住宅を造る場合には、その地域の木材が最も適している事は分かっていますが、今まで資源量が少なくて使用できませんでした。ようやく県産材が使用できるまでに成長し、県産の杉材を中心に桐材などによる、本物の県産素材の住宅「自然素材の家」が実現しました。

■乾燥・プレカット材

松下手建設では、構造材に集成材を採用しないで乾燥させたプレカット材を採用しています。必要な主要構造材は昔のように背割りしていますが背割りしても構造強度には全く問題ないように計算しています。自然素材の調湿作用を暮らしの中で体験することが出来ます。

■ムク建具材

「自然素材の家」展示場のドアの羽目板、腰壁、床材は全てムク材を研ぎ出したものです。経年変化によって色彩も変わり、住まう方と共に年輪を刻んで行くことが出来る本物の素材をお確かめ下さい。

■防蟻フォーム気密材

とことん健康にこだわった「自然素材の家」展示場では、防蟻に対しても、人体に影響を及ぼす従来の防蟻処理から全く新しい、人体に無害な新開発の防蟻フォームを気密・防蟻剤として採用しています。

■高性能プラスチックサッシ

■低放射遮熱複層ガラス (オプション)

■高性能断熱・気密玄関ドア

高断熱・高气密施工で最も重要なのは住宅の約半分も熱が逃げず開口部の性能です。松下手建設では、高性能プラスチックサッシに、低放射遮熱複層ガラス (オプション) を装備し、夏も冬も快適な省エネルギー環境を創り出す、高性能開口部を採用しています。

「エコ・ハートQ21」のイロ・ハ・漆喰とは何か?

漆喰(しっくい)は、世界中で使用されている壁材です。古くは5000年前のエジプトまで遡ることが出来ます。また、イタリヤのポンペイ遺跡に残されている壁画もまた漆喰壁に描かれたもので2000年を経過した現在でもその美しさは変わりません。ヨーロッパのフレスコ画の地下材も漆喰です。我が国でも平安時代頃から漆喰が使用されていたことが様々な絵巻物に描き残されています。しかし当時の漆喰壁は、糊材として米が使用されていたために、身分の高い者にしか許されず使用箇所も門の一部などに限られていました。大量に漆喰が使用されるようになったのは、海藻糊が開発されてからで、優れた防火性から姫路城などの築城に使用されるようになりました。漆喰の特徴は、主原料である消石灰が空気中の炭酸ガスを吸収し炭酸カルシウムに変化することで強いアルカリ性の性質を持ちカビが生えにくいという特徴があります。更に調湿性に優れ、室内の湿度コントロールで爽やかな環境を造り出してくれます。また、いま話題のシックハウス(新築病・家庭病)の元凶であるホルムアルデヒドを吸着分解する性質もあるといわれ、健康住宅には欠かせない素材になっています。自然素材の壁といえば、珪藻土が有名ですが、漆喰壁は珪藻土のように経年変化でポロポロ剥がれ落ちる心配もありません。松下建設では、現在、本漆喰とクロス状に貼ることが出来る漆喰クロスを採用しています。両方とも漆喰の性質に変化はありません。

「エコ・ハートQ21」第二棟目

施主 折田 勝郎様

【建築地】鹿児島県鹿児島市星ヶ峯二丁目
【建築様式】木造二階建(エコ・ハートQ21)



で建てられ、その都度説明を受けて非常に勉強になりました。外壁全体が完了した時点で気密測定が行われ隙間が一平米あたり一センチ平米を切り〇・八しかないという結果に非常に驚きました。

本当に「エコ・ハートQ21」は冬暖かく夏涼しい理想的な住環境でした。



平成十三年二月十八日、松下建設の営業マンの方から、新工法の実験棟が完成するという話を聞き、開発中の高性能・健康住宅の実験棟を見学させていただきました。今まで見学した住宅とは異なり、最新の省エネ給湯器、エコ・キュートによる基礎暖房や高断熱・高気密・計画換気など、最新の住宅工法に圧倒される思いがしました。私にも、二軒目の家としての思い入れもあり。五月十九日にスピード契約しました。整地、基礎、建築と手際よく進められ、翌年十一月二十二日に入居することができました。建築は非常に精密に行われ、無垢材の四寸角の柱とプラスチック系断熱材

平成十三年十一月二十二日の入居以来、二年に成りましたが、まさに冬暖かく夏涼しい快適な家を実感しています。妻との二人暮らしですが、冬季の暖房は、夜寝る時に暖房するだけで充分です。室温は、大体二十度前後と安定しており、太陽が出れば二十二〜三百度位に上昇し、反対に夏期は、真夏の高温時(三十五度位)でもクーラーを一台運転するだけで二十五度〜三十度以内で外気温よりも五度〜八度位も涼しい生活が出来ています。計画換気で室内の空気は年間を通じて適切に管理され、埃が少なくとても健康的です。地元の松下建設にお願いして本当に良かったと実感しています。

私達が、実証棟の現場施工を担当しました。



棟梁 内野 俊伸



左官工事 中野 健一

長年住宅建築に携わっておりますと様々な現場を担当するわけですが、職人冥利に尽きる現場があります。松下建設のこの現場は、まさにそのような現場でした。私達は施工管理者の支持通りに仕事をしている訳ですが、同じような仕事をしているようにもプラスチックアルファールの微妙な部分は、職人の気持ちが入るかならないかです。ふん仕上がりも異なっています。エコ・ハートQ21は、職人の目から見ても優れた工法だと思えます。もしも自分達が住宅を建てるとしたら、間違いなくこの住宅工法で建てたいと思います。鹿児島市の昔からの木材や漆喰を採用していますが室内の空気が感じる感じがします。また、寒さや暑さに対してもこれだけ計算された住宅はないと思います。施工中に感じるのですが、夏も冬も断熱材を施工してしまおうと外の温度に左右されなくなりやすから、本当に仕事がしやすい住宅です。この住宅工法は間違いなく最高の住宅工法です。

私達が責任を持って「折田邸」をお建て致しました。



設計・工務担当 田中 孝志

初めて営業担当とお伺いし高性能住宅の説明をさせて頂いた。ご理解頂き「エコ・ハートQ21」の第二棟目を建てさせて頂いたわけですが、快適にお過ごしとの事をお聞きいたし、我が事のように喜んでいきます。早期にご決断下さり本当にありがとうございます。設計面におきましても鹿児島県の気候風土を充分に考慮して四季を通じて快適にお住まい頂けるように工夫したつもりです。この住宅は「エコ・ハートQ21」が松下建設の最新工法として、軌道に乗った記念碑的な住宅でもあります。



営業担当 東 直也

「エコ・ハートQ21」は、実験棟、一棟目の素晴らしい成果をふまえて松下建設の主要工法として発展させることになり、記念すべき第二棟目が折田邸でした。冷暖房対策に独自の工夫があり、一年中、快適に過ごしていただくために最善が尽くされています。折田様には、この住宅の素晴らしさを直ぐにご理解いただき営業担当として非常に嬉しかった思い出があります。今後とも末永いお付き合いをお願いします。



施工管理 伊集院兼一

基礎の打ち込みから完成まで、ご覧いただけたいと思います。松下建設の住宅造りに対する姿勢が良くご理解いただけただけではないでしょうか。松下建設の職人は、最高クラスの職人ばかりです。現場をご覧いただくと良くお分かりいただけたいと思います。今後何か問題が発生しましたらすぐにご連絡ください。松下建設が責任を持って対応いたします。



設備工事 泊 耕太郎

「エコ・ハートQ21」は、設備面におきましても様々な新工夫が施されています。それは給湯システムから水道配管に到るまで様々な面に最新の設備が導入されています。ほとんどが施工後は目に見えない部分ですが、こんな処に松下建設の住宅に対する愛情と責任を感じます。設備工事を担当しましたが、本当に仕事のしがいがありました。

